

成人したら定期検診を



九州・山口編

今回の病院の実力は婦人科
がんを取り上げる。

婦人科がんは、子宮の入り口(頸部)にできる子宮頸がん、胎児を育てる奥の部分(体部)にできる子宮体がん、子宮近くの卵巣にできる卵巣がんの三つに分かれる。

一覧表には、子宮頸がんの治療を行った患者数、子宮頸がんに対して放射線療法・同時化学放射線療法を行った患者数、子宮体がんの治療を行った患者数、子宮体がんに対して腹腔鏡下手術を行った患者数、卵巣がんの治療を行った患者数を掲載した。

婦人科がん

■出産可能な例も

子宮頸がんは主に、ヒトパピローマウイルス(HPV)の感染が原因で発症する。最近では発症年齢の若年化が進んでいる。20〜30歳代では日本人が発症するがんでも最も多いが、検診で早期に見つけることができる。



三さん 写真による同科では、この術式を2005年に導入。これまでに約180人がこの手術を受け、16人の赤ちゃんが誕生した。

■見つけにくい卵巣がん

子宮体がんは、子宮内部を覆う子宮内膜にできた異常な細胞がもとになる。50〜60歳代で発症する人が多く、閉経後の不正出血で分かることが多い。

子宮体がんも子宮を全摘する治療が一般的だ。条件を満たせば、開腹手術と比べて傷口が小さい腹腔鏡下手術もある。この手法を使えば、痛みが少なく、回復も早いという。卵巣がんは発見が難しく、進行してから見つかることが多い。園田さんによると、治療は手術と抗がん剤の併用が

基本。妊娠を望む人のために卵巣を残す手術法の研究が進められているが、結論はまだ出ていないという。

一方、治療前に卵子や受精卵を凍結し、治療後に妊娠・出産に至るケースもある。がんの根治と出産の両方がかなえたい患者にとっては朗報だが、園田さんは「がん治療は時間との闘いでもある。家族やパートナー、医師らと相談し、慎重に決断してほしい」と指摘する。

■子宮の大部分残す手法も

鹿児島大学病院(鹿児島市)の産科婦人科では15年から、妊娠中の子宮頸がん患者を対象に「腹式広汎子宮頸部摘出術」を行う臨床試験を始めた。この手法は、胎児を入れたまま、がん部分のみを切除して子宮と膈をつなぎ直すことで、子宮の大部分を残す。



同科教授の小林裕明さん 写真によると、九州では初めての試みで、これまで

に3例の実績がある。注意しなくてはいけないのは、手術できるのが早期のがん患者に限られるほか、母子ともにリスクが高いこと。小林さんは「実施の可否は慎重な判断が必要だ」と語る。

■ロボットが手術支援

今年1月からは、手術支援ロボット「ダヴィンチ」も新たに取り入れた。子宮摘出などの際、開腹手術に比べて傷が小さく、出血量が抑えられる利点がある。

小林さんは「女性を治療するということは、患者と赤ちゃんの二つの命を預かるという。根治が最優先だが、患者と家族のQOL(生活の質)を保つことも大切にしていく」と説明する。

厚生労働省の調査(13年)によると、子宮頸がんの検診率は全国で約4割にとどまるとされる。小林さんは「婦人科がんは誰でもなり得る。成人したら定期的に検診を受けよう」と話している。

病院の実力「婦人科がん」

医療機関別2016年治療実績

(読売新聞調べ)

医療機関名	子宮頸がん (人)	子宮頸がんの放射線療法・ 同時化学放射線療法 (人)	子宮体がん (人)	子宮体がんの腹腔鏡下手術 (人)	卵巣がん (人)
山口県					
地・徳山中央	24	2	26	0	31
山口大	24	17	30	0	22
県立総合医療七	17	11	20	1	16
山口赤十字	9	0	16	0	10
福岡県					
九州大	113	11	102	23	45
国・九州がんセ	80	42	49	12	30
久留米大病院	28	16	62	21	34
産業医大	30	12	48	8	36
済生会福岡総合	21	0	49	17	32
北九州市立医療七	33	10	43	7	25
地・九州	28	15	45	0	21
福岡赤十字	17	5	30	0	23
浜の町	12	0	36	6	15
飯塚	20	6	28	5	13
聖マリア	16	7	23	0	15
九州労災	10	2	18	0	12
福岡大	12	7	18	1	10
国・九州医療七	11	6	15	5	13
佐賀県					
佐賀大	52	41	36	0	27
好生館	0	0	22	1	13
唐津赤十字	0	0	4	0	4
長崎県					
長崎大	38	11	44	8	26
国・長崎医療七	27	11	17	0	26
長崎みなとメディカルセ市民	12	7	36	0	11
済生会長崎	11	0	19	16	14
佐世保市総合医療七	11	0	15	0	13
熊本県					
熊本大	35	8	59	2	33
熊本赤十字	16	6	32	12	36
地・人吉医療七	7	2	10	0	5
荒尾市民	2	1	6	0	3
大分県					
大分大	29	7	37	5	26
大分赤十字	4	2	12	0	4
宮崎県					
県立宮崎	98	26	97	0	91
鹿児島県					
鹿児島大	97	11	57	25	38
国・鹿児島医療七	41	21	47	0	17
今給黎総合	0	0	4	0	4

「国・」は国立病院機構、「地・」は地域医療機能推進機構、「セ」はセンター。